

議会だより

せら



■今号の主な記事

- 議長年頭のあいさつ2
- 13自治センター運営体制が整う2
- 議会改革 議員定数は4
- 委員会研修 安芸市ヘルスアップ事業報告他5
- 議案に「賛成」「反対」8
- ｽﾊﾟ 町政の課題 方向をたずねる13議員9~15
- 元気な人紹介 自慢しよう私たちの町16

期待に応え
V7

No.28 平成24年1月13日発行

メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

年頭のご挨拶



世羅町議会
議長 奥田 正和

新年あけましておめでとうございます。今年も世羅町議会の活動に対しましてご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

昨年末の世羅高校陸上競技部男子V7と女子11位の見事な活躍に町中がフィーバーいたしました。感動をありがとうございます。選手は勿論、支えあつてきた友人・保護者・地域が心ひとつに頑張った証と言えると思います。汗と涙は報われました。

さて、議会も任期最終年です。議会改革および資質向上をしっかりと行わなければなりません。町の発展に資するため、自己研鑽と調査研究を時間を惜しまず活発に、スピードを持って行わねばと思います。

小学校統合により閉校

した愛着のある校舎の活用も地域の賑わいには活かされるべきです。住民の期待を裏切らない活用策を早急に取り組みねばなりません。

尾道松江線の全線開通も視野に入れた取り組みも待ったなしです。魅力ある世羅をアピールする為には、他とは違ったオンラインワンの政策が必要です。

昨年の自然の猛威には人間は為すすべもありませんでしたが、いのちを守る手立ては必要です。地域組織の充実など色々な役割分担を整備確立し、安心で住みやすい町に築き上げていきましょう。

この一年が皆様にとって素晴らしい躍進の年になりますことを願い、ご挨拶とさせていただきます。

H23年第4回定例会 12月12日から22日まで開催

一般質問は、今回から質問回数制限を撤廃し13人の議員が30項目にわたって施政を質した。会期中それぞれの委員会が事務調査を行った。議会改革調査特別委員会は「議員定数は、現行を維持する」との結論を出した。また、今定例会までに受け付けた陳情は7件あった。この内1件については、議員提案で意見書を議決し、関係する大臣へ提出することとした。議案の採決状況、一般質問・委員会調査・陳情審査の概要は別頁に記載。

宇津戸自治センター指定管理

「協働のまちづくりを目指し、自治活動の振興を図るため、住民の主体的な自治活動と生涯学習活動の拠点施設

「設」として自治センターを設置している。この管理運営は地域の実情を反映し、特性を發揮しやすくする

ため、地区振興協議会を指定管理者としてい。H21年12月に8地区を先に指定し、その後順次指定し、今回13地区目の宇津戸自治セン



4月から(仮)宇津戸自治会の自主運営となる宇津戸自治センター

ターが加わり、地域の特性を發揮した地域づくり体制が完結する。しかし、指定管理を受ける地区の意思決定

はしているが、受皿の組織は(仮)となっており契約時点までに整備が求められる。

宇津戸自治センター指定 13自治センターの自主運



児童ふれあいセンターとして再スタートする旧おおた保育所

児童ふれあいセンター設置

旧おおた保育所は児童ふれあいセンターとして再出発するため設置管理条例を定めた。

児童ふれあいセンターは、放課後児童クラブとして使用。他に、世代間交流事業の企画運営をし今後の活動拠点となる。

利用の中心は児童とその指導者とするが、

支障のない範囲で健全育成活動に関わる人も使用できる。

町道の認定と変更

「町道路線の認定要件を満たしている既存の道路」は町道として

補正予算

職員給与改定に伴う減額、国・県補助金の増額による歳入補正。経済対策補助金を活用して、傷みの激しい町道5路線の舗装改修に4千万円。特別養護老人ホームの増床に8千7百万円、中間直接支払など農林水産業費3千2百万円を増額した。

また、中長期の財政基盤の安定を図るため、基金(貯金)2億円を取り崩し、借金返済に1億4千万円を充当。新規借入金5千4百万円を減額するなど2億8千万円を増額した一般会計補正予算を議決した。

国民健康保険事業特別会計では、依然として保険給付費の伸びに歯止めがかからないことから1億4千万円を増額した。

特定健診や総合健診の受診率は上向いているものの十分とは言えない。このため重症

維持管理する。そのため接続する道路の改良など行われ起終点が変わった場合は、変更が必要となる。

五反平本線の起点の変更。新たに北浦線、寺谷高山線、桑原北線、長尾線の認定をした。

早期発見早期治療の理解と意識啓発が一層求められる。

第3回臨時議会

11月25日第3回臨時議会が行われた。

世羅町の職員給与は国家公務員に準じている。また、その増減は人事院勧告に準じている。年間支給額を調整するためには11月中旬に給与条例を改正しておく必要がある。こうしたことから平均0.23%引き下げの改正を

行った。

また、甲山小、世羅西中の落雷被害、せら文化センターの電話設備の老朽化、さらには世羅高校陸上競技部への補助金など450万円を増額。財源は災害共済金と基金とする一般会計補正予算を議決した。

人事

監査委員選任同意

世羅町大字黒川

山口 敦 允 氏

H23年12月31日の任期満了に伴い、任期H24年1月1日からH27年12月31日までの選任について意見を求められ、適任としました。

報告します

委員会は 今

総務文教常任委員会



新年度予算方針など調査

●事務調査 新年の予算方針は

過疎自立促進計画の新規事業および継続事業など、多くの補助や単独の普通建設事業、ソフト事業を計画しているが、各課において長年続けてきた事業の見直しを図る。
第2次行財政改革推

進プランに基づき切れ目なく行財政改革を継続実行することにより「強い財政基盤」を確立して、各事業とも質の高い行政サービスを継続的かつ安定的に提供し、全町農村公園化の具現化を目指す。
財政推計の実質収支はH24年度からマイナスに転じ、特にH26年度は防災のデジタル化などにより4億円のマイナスとなつて

いる。
財政調整基金は、H24年度は29億円でH25年度から減額、H27年度には20億円となっている。
実質公債費比率と公債費もH27年度まで推計されており、H24年度には18%以下となっている。

公有財産の利活用は

旧東小学校は一部改修中であり、H24年2月には基本方針が決定される。

旧おおた保育所は一部解体が完了し、残存施設は世羅町児童ふれあいセンターとして活用される。

タイケン学園貸付物件は、H23年4月に返却の意思表明があり、H23年8月に(有)トツツと賃貸借契約が締結された。

子ども発達支援センター(仮称)

子どもの発達障害の早期発見、早期支援などを行うため、福山市が設置主体となり6市2町による共同運営となる。

第5期介護保険事業の骨格・素案は

世羅町は、第一号被保険者一人あたりの給付費は23市町のうち16位、要介護認定率、利用率はともに15位で、施設サービスの利用者

数、支給額の割合はそれぞれ21・22位である。
学校運営は

小学校は少人数対応教員として、世羅小学校に町費負担の加配教員5人が配置され、介助員など14人配置。
中学校の教科書採択は2市2町世羅郡教科用図書採択地区選定調

議会改革調査特別委員会

●調査中間報告

前回に続き議員定数を調査した。

前回集約した意見の確認と参考資料を基に、議論を具体に前へ進める方向で意見を聞いた。

全委員から、現状維持か減少すべきかの意見と、その理由を聞き採決を行った。

その結果、定数現行のままに

調査の調査報告に基づき、世羅郡教科用図書採択地区選定委員会が選定し、教育委員会に答申して決定された。

太陽光発電の現状は

小中学校7校の太陽光発電設備設置前後の電気使用料の比較は11月までに約153万7千円の効果があった。



議員定数など調査



町道西川本線道路改良舗装工事

産業建設常任委員会

は現行通りの定数で実施する方針となった。その他

- ・現在、討論を自席で行っているが、本来は登壇し議員席に向いて行すべきではないか、

●現地調査
町道西川本線道路改良舗装工事の進捗状況は、延長250m区間工事中であった。

と提案があった。

採決の結果、今議会の最終日から行うことで一致した。

- ・議会改革に向けた先進地視察を予定した。

尾道松江線工事現場

- ・東上原橋 下部工事 (大字赤屋地内)
- ・別迫第6改良工事 (大字別迫)

堆肥の屋内保管の状況

A 鶏舎 下津田
保管量1751t
B 鶏舎 吉原
保管量1312t
C 鶏舎 青水
保管量1243t
賃貸期間はA・B鶏舎がH17年〜22年賃貸料が入金されていない状況。両者は歩調を合わせ肥料販売業者に契約解除通知を出した。
C 鶏舎はH23年10月仮解除の状況。

肥料販売業者から鶏舎所有者に誠意ある回答が無く「なぜ、ここにストックしているのかまったく分からぬ、早期の撤去をしてほしい」と考えている。

●事務調査

町道安田徳一線道路改良工事一時中止の状況は

H23年12月9日から、徳市を除く工事が再開した。

対策工事には国の承認が必要であり、現在、県と協議中のため工事の着手および、完了の時期は未定。

世羅町農業生産物放射性物質(調査)状況は

県内産農畜水産物の放射性物質検査第8報の検査結果によると、米、アスパラ、ブドウ、なし、牛肉、生乳、牡蠣、レモン、みかんの9品目からセシウム134、ヨウ素131は検出されていない。

指定管理の実態は

せらにし青少年旅行村

秋以降の営業は、人件費の抑制のため現地に人員を配置せず、10月26日から電話の予約のみの営業を実施。

この状況では、来園者の事故など問題点を指摘し、11月14日管理者に人員配置を指示した。

その後の安全管理は、12月12日から毎日巡回し、施設内の点検ができる人員が配置された。

H23年度の利用状況は11月末時点で、約5千人で、昨年に比べ約2百人の増。

せら香遊ランド

H23年度の利用状況は、11月末時点で約3万2千人、昨年に比べ約7百人の増。

八田原グリーパーク

H23年度の利用状況は、11月末時点で約3千人、昨年に比べ約8百人の増であった。

公共下水道事業調査特別委員会

●現地調査

出口地区(甲山本通り)下水道新設工事を調査。現場は工事延長179mあり直径15cmの下水管が新設される。11月末現在で進捗状況は43%であった。

●事務調査

工事に関しては色々問題があるが連坦地区ということもあり、早めの対応が求められる。民家も隣接しており



出口地区(甲山本通り)の下水道新設工事

接続に関しては多額の経費がかかる状況である。

使用料金は現在事業所込みで7千円程度であり、接続率の向上が必要である。

今後の見込みは、H24年度甲山ホテルから榎橋までは伸ばす予定。まずは幹線を設置できないと面整備は進まない。また、大田町・昭和町付近については、浄化槽を設置するスペースが少なく「早期の設置要望」もあり、早期の取り組みが望まれる。

また、早期説明会の開催が望まれるため、整備できる状況になったら早期に説明会を開催するよう申し入れた。

視察研修報告



高知県安芸市「国保ヘルスアップ事業」の調査研修

総務文教委員会

H23年10月11日と12日で四国の安芸市と須崎市を視察した。安芸市は「国保ヘルスアップ事業」の調査研修を行った。

生活習慣病者への保健指導の実施、大動脈血管障害の予防のため40〜50代の特に男性をターゲットに受診を推

奨、糖尿病患者の良好なコントロールのため主治医と連携し支援に取り組んでいる。

ほか、健康づくり推進団体として「元氣・ふれあい会議」を11の団体で組織し、国保ヘルスアップ事業として取り組みを展開している。特定検診率の向上を図るため中学生参加の検診啓発パレードを行ったり、税務申告会場で検診を行うなど、受診率65%を目指し事業を展開していた。

これにより受診率も向上し、住民の健康に対する関心も高まった。地区ごとに主体的に健康づくりに取り組む母体を形成させていた。

受診率が決して高いといえない世羅町では参考とすべきところが多くあった。（参考世羅町は約40%）

次に須崎市は40〜50代の検診率が低くH22年より40歳から59歳の全市民に癌の小冊子と集団検診の日程配布、女性特有の癌検診での無料クーポン配布、夜間の受診推奨の取り組みで受診者が前年度より811人増加していた。

産業建設委員会

8月22・23日の両日、徳島県勝浦町と上勝町を視察した。目的は、廃校を活用した地域間交流事業、地域活性化事業、並びに定住促進事業の取り組みを調査した。

① 最初の視察地「ふれあいの里さかもと」は、地元の体制よりも、補助事業が先に採択となり、地元調整が不調となった時期に、一旦役場に補助事業の話を返した経過があり、地

元を二分する議論となった。再度整備する段階で、地元委員が議会全員協議会で意志表明を行った。町のリーダーシップによって実現した。

事業費概要は、改修費1億8千万円（補助率50%）、備品購入費3千万円（単独町費）軌道に乗るまでの5年間は、町が光熱水費を支払う。

エレベーターは追加施設、耐震補強は整備



廃校を活用した地域間交流研修施設（徳島県勝浦町）

時に実施、家庭科室を実習室へ転用、厨房は新設、排煙が必要な窓は更新、浴場整備、ランドリーコーナーを新設、浄化槽は整備時に入れ替えた。

② 落合複合住宅はH11・12年で改修（1億8千320万円）。町主導の跡地対策協議会で方向を決定し整備された。耐震対応はしていない（今後の課題）。内装については地元産杉材を使ったパネル工法で施工。貸事務所へは町三セクの事務所とコンサルが入居。

③ 山の楽校（自然の宿あさひ）は地元対策協議会の希望により改修実施。自由に使用せたいとの考えで複数年かけて整備した。約4

千万円を投資、指定管理で運営中。
④ 類似施設として傍示住宅があるが閉校敷地を活用し町営住宅を新築した。総事業費は4億5千250万円。

広報委員会

議会広報の編集に携わって3年2ヶ月。毎定期会後の発行で今編集体制によりNo16～27号まで発行してきた。

1 点目の変更は、表紙の写真を全面にしたデザインに変更した。

2 点目は、議会終了後2カ月かかっていたのを、翌月発行に変更した。

議会広報にも全国と県のコネクトがある。町民の皆様親しみやすく分かりやすい広報にするため、全国レベルの技術の習得が必要と思い今回の全国広報研修に参加した。引き続き研修と研鑽

を重ねてよりよい広報の発行に努める。

研修期間
7月28～29日

場所 東京都千代田区砂防会館

参加者 調査特別委員6名

研修内容 1日目

1) わかりやすい文章表現・表記について

2) 議会広報「リニユール」の視点

3) 広報活動での著作権2日目

議会広報クリニック
全国から寄せられた
広報誌の内容を1紙ごと
チェック講評



東京都砂防会館で議会広報研修

陳情と請願 このように決めました

皆さんの
からの

■採択となったもの

◎「介護職員処遇改善交付金」制度の継続と改善を求める陳情
「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の実現を」
国民大運動広島県実行委員会 代表 尾野 進

◎世羅町における地域支援事業（移動支援）の範囲拡大を求める陳情
世羅町障害児者連絡会 会長 安石 英二 他2名

■不採択となったもの

◎年金受給資格期間を10年への短縮を求める陳情

全日本年金者組合広島県本部 執行委員長 谷崎 典彦
※ 委員会の意見 25年と10年では期間など不公平が生じる。

◎「地域主権改革」による行政サービスの低下に反対する陳情
広島公務労組連絡会 議長 葛西 英司
※ 委員会の意見 町議会として提出する内容でない。

■継続審査となったもの

◎町道拡幅及び架橋の要望

東神崎振興協議会

会長 實川 瀧雄

※ 委員会の意見 詳細に調査研究する必要がある。

◎「地域の自主性・自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴う条例改正についての陳情
「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の実現を」
国民大運動広島県実行委員会 代表 尾野 進

※ 委員会の意見 内容が漠然としている。財源が明確でない、詳細に調査の必要がある。

◎世羅町議場に国旗を掲揚することを求める要望

日本会議広島世羅支部

事務局長 光元 要

※ 委員会の意見 国旗掲揚には賛否両論あり、調査研究する必要がある。

第4回世羅町議会定例会

提出議案採決結果

○賛成 ●反対 空白 欠席

議案番号	提出議案	採否	西田	岡田	矢山	安佐	徳光	豊田	福田義	能登	仲行	仙光	小川	松本	永田	中村	福田豪
議案第77号	町道路線の変更	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	町道路線の認定	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	宇津戸自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	世羅町税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	児童ふれあいセンター設置及び管理条例	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	土地改良事業の賦課徴収条例の一部を改正	可決	○	○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	●	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号	後期高齢者医療制度特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号	介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号	介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第89号	上水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第90号	簡易水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号	公共下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	●	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○

第3回世羅町議会臨時会 (H23.11.25)

提出議案採決結果

○賛成 ●反対 空白 欠席

議案番号	提出議案	採否	西田	岡田	矢山	安佐	徳光	豊田	福田義	能登	仲行	仙光	小川	松本	永田	中村	福田豪
議案第75号	給与条例等の一部を改正	可決	○	○	●	●	○		○		○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○

議会改革調査特別委員会 議員定数に関する事項

調査事項	人	西田	岡田	矢山	安佐	徳光	豊田	福田義	能登	仲行	仙光	小川	松本	永田	中村	福田豪
議員定数 現状維持に賛成	8	○	○	○	○		○							○	○	○
議員定数 2人削減に賛成	7					○		○	○	○	○	○	○			

一般
質問



町政の課題

方向をただす13議員！



適正な管理が望まれる

Q 「せらにし青少年旅行村」の管理は

A 協定に基づき適正管理を指示



仲行 洋議員

●仲行 現在、「せらにし青少年旅行村」に指定管理者の姿が見えない。この状態はいつからのことか。利用者に対し十分なサービスとゆき届いた管理ができているのか。

■町長 指定管理者である社会福祉法人サンフェニックスは、秋以降の営業について人件費抑制のため人員を配置せず、10月26日より電話による予約のみの営業を実施している。事故盗難など危惧されることから協定書に基づき適正に管理されるよう指示している。地域の方々には心配かけていることは申し訳

なく、その改善に全力を尽くす。

Q 公共下水道事業の今後の取り組みは

A 方向性を検討

●仲行 現在、多くの町民の批判的な意見があるなか、毎年多額の公費を投入し公共下水道事業を行っているが、社会情勢などの変化によりこれまでのやり方では加入率の改善は見込めない。維持管理費の大幅な赤字など、後年度負担が増大するのは目に見えている。

そこで、認可区域内の合併浄化槽での対応か、大量の使用料が見込める施設などへの接続など、抜本的な改善をすることがコスト削減につながると思うが町長の考えは。

■町長 充分検討する内容であるので、今後の方向性を考える。

Q 都市計画に今後の町づくりは

A マスタープランに基づき 事業実施



安佐長秀議員

心して暮らせる町づくりを、また住宅地整備は今後検討する。

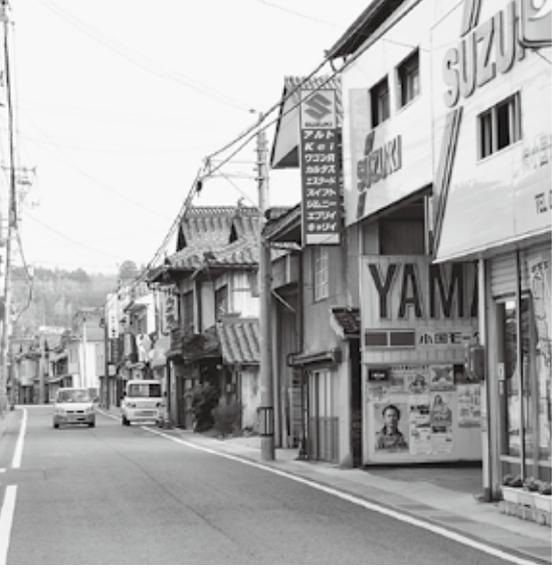
Q 都市計画のアンケートの声を

A 安心できるまちづくりを

Q 多くのアンケートの声をどう実現するか。他町に移住される人もいます。具体的に

取り組み、安心出来る町づくりをすべきではないか。

■町長 「医療、福祉の充実、高齢者が安心



今後の商工育成は

して暮らせる町」をの

コホート事業、中央病院の再編を進める。生活が永続できる課題の前進をはかる。

Q 安心できるまちづくりを

A 企業立地支援条例で

Q 安佐 誘致企業へ対

Q 災害時の消防団員の安全は

国が示す検証と共にわが町でも安全を求め



小川信晃議員

■小川 東日本の震災では、250人余りの消防団員が亡くなった。今まで国民の生命と

財産を守る奉仕の消防団精神を叫んできた者として、あまりに大きな犠牲である。団員の安全確保の議

応をどう行っているか。企業の法律を守る指導はどうか。問題があると、町の信用がなくなるが、町長の考えはどうか。

■町長 「企業の立地を支援する条例」により取り組んでいる。適切な助言指導を行い、違法性が見つかった場合は、厳正に対処する。

論を、団員と共に行政はすべき時が来ていると思うが。

■町長 国において消防団活動の、安全確保の検討会が設置された。本町も団員の安全確保の協議に、防災機関と連携し充実強化を計っていく。

Q 保育所統合の効果は

A 利用者にとって効果があった

Q 法人化は世羅の農業を救えるか

A TPP参加には反対



防災の要 消防団

■小川 今、公と民との2本立てで保育事業が行なわれている。統合の効果は様々な計画が当時はあったが今後の取組みは。

■町長 運営費も当初の計画どおり5千万円の削減。長時間保育や保育料の半額補助など強いまちづくりもでき、利用者にとって効果はあがっている。甲山保育所は、建物の安全もあるが、子育て不安の軽減のため今のままで行なっていく。

■町長 行政としては断固としてTPP参加に反対であるが、協議の結果、国が執行すると今の時点ではどんな町づくりになるか考えていない。今は持続可能な農業にするため農地の集積を集落単位で行なうための取り組みを継続して推進する。

■町長 行政としては断固としてTPP参加に反対であるが、協議の結果、国が執行すると今の時点ではどんな町づくりになるか考えていない。今は持続可能な農業にするため農地の集積を集落単位で行なうための取り組みを継続して推進する。

■町長 行政としては断固としてTPP参加に反対であるが、協議の結果、国が執行すると今の時点ではどんな町づくりになるか考えていない。今は持続可能な農業にするため農地の集積を集落単位で行なうための取り組みを継続して推進する。

※TPP：環太平洋戦略的経済連携協定

Q

未給水地域の新規計画は

関係者に説明をする必要がある

A

●**仙光** 西世羅地区の水道工事も完了し、次の計画着手の状況は。西の方では、小国地区の一部と山福田地区の要望があり、甲山方面は、川尻、宇津戸地区の計画があると思う。

現在、生活排水をきれいにするということが合併浄化槽が町内で毎年100基程度設置されている。設置にあたっては、今までより水量の確保が必要であり、水道の給水地区外では水量確保に苦慮されている。



仙光保喜議員

高齢化が進む中、若者が田舎に帰り定住するという中でこのような状況がある。町として一定の条件下で浄化



未普及地域の給水計画を！

槽設置と同じように未給水区域に応分の助成措置ができないか。

■**町長** 現在、過疎地域自立促進計画に計上

している川尻・宇津戸地区の水道事業については地元説明会を実施している。今後、費用対効果を考慮しつつ、事業実施にむけた取り組みを進める。現在の未給水地域の新規計画は、川尻、宇津戸地区と山福田地区としている。また、建設計画ではその他の地域の整備も想定している。指摘の、給水区域外での水量確保に係る助成事業は、現時点で創設の計画はない。しかし、水道の未給水地域での安定的飲料水確保対策の観点から、他の市町の実施状況など調査し、水道施設整備に係る費用対効果の観点から検討課題であると受け止める。

Q

DV法の施行による本町の取り組みは

福祉事務所で対応

A

●**西田** 広島県は、23年8月に「広島県配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する基本計画（第2次）」を策定した。

①配偶者暴力相談窓口の設置が進むよう、市町を支援する。
②被害者の立場に立ったより実効性のある自立支援対策を講じる。
③若年層への教育啓発に努める。とある。

■**町長** 男女共同参画社会行動計画を中心に取り組むか。



西田美喜男議員

に、福祉事務所において対応している。被害が潜在化していることから、民生委員へ相談するなど、速やかな関係機関との連携も重要で、相談に対する職員の資質の向上を図り、配偶者暴力相談窓口としてサービスの充実に努める。

Q

小学校跡地利用の進捗は

基本計画に反映再検討をする

A

●**西田** 前回6地域が個性を持ち、町の中で輝きを放つ整備につながりたいと答弁があった。西大田地区では、具体的な計画を望んでいる。

- ① 東日本震災での小中学生の受け入れは。
- ② 民俗資料館の所在は
- ③ 自治センターの計画



望まれる閉校校舎の活用推進

④ 大型バス進入可能な道路の計画は。
■**町長** ① 広島県教育委員会が休止しており、状況を見守っている。

- ② 世羅町全域の資料館であり、町の大切な財産と考えている。
- ③ 13の自治センター全体の長期整備のあり方の中で検討する。
- ④ 用地調整などの周囲の状況を踏まえた上で、道路整備だけに特化することなく検討が必要。

町長の政策評価を問う

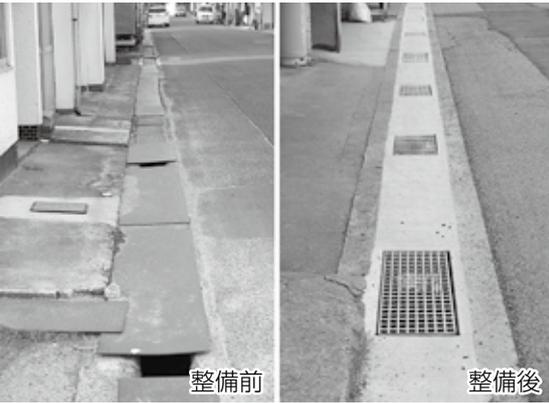
おおむね達成



徳光義昭議員

●徳光 町長の2期目の5政策と評価と実績を問う。

■町長 ①財政は、第一次行革プランは80%達成し、合併時219億円の借金は、H22年度末162億円に削減した。実質公債費率もH24年度末には18%を下回る予測。



整備前

整備後

修繕が望まれる側溝

⑤教育は、高い教育レベルを堅持し適正な学級規模に整備された。H23年度4月から新たな学校づくりを進め

ている。以上5施策は町民の理解と協力、ご支援により概ね達成されたと考える。

Q 道路維持・修繕予算の増額を

A 増加予測される計画的に整備する

徳光 町道、水路、

Q 行政に民意の反映は地域懇談会や各課からの提案を予算に反映



福田義人議員

●福田義 先月、大阪市長と大阪府知事の選挙、維新の会が勝利のように、強いリーダーシップが求められる。新たな事業にはリスクがあるが、努力してこそ、組織は前に進む。全町農村公園化構想の前進には、具体的施策が必要だ。

橋梁は30〜50年経過し、劣化、狹隘、危険箇所の改良、舗装など要望が多く維持費の増額を。

■町長 50年経過の老朽橋が更新期を迎え、道路維持費は増加予測され、計画的に維持したい。

■町長 H21年3月に策定した協働のまちづくり指針にしたがって問題解決に努めている。事業の実施には民意の反映が必須。

年2回の懇談会を実施し問題解決を図っている。H23年度は11の新規事業を実施。

Q 人材育成の基本方針は

A 業務遂行能力の開発部下の育成に力を

福田義 町政のより

よい継続は人材育成にあると考える。その基本方針について問う。

①新たな職員評価システムの効果は。

②業務のスピードアップは必要だ。併せて、残業を少なくするには

③自己研鑽・研修の必要がある。職員の地域活動を評価しては。

■町長 管理職と面談し、事業の進捗、部下の育成を要求、効果が始めている。

適正な命令により超勤が少なくなった。職員の地域活動への期待は大きく、自身の人的成長に資する。今後とも指導する。

Q 保健・福祉・医療の連携は

A 病院を地域で支えていく取り組みを

福田義



町の発展は人材育成から

●福田義 中央病院は、155床の地域医療に広がる病院となった。住民医療の要望に応えるには、行政の積極的な関与が必要ではないか。

■町長 増床に伴う人員増は、医師以外確保してきたが、医師は確保できなかった。引き続き広大に要請する。苦情はその都度伝える。

今後、行政と病院が連携し医療サービスが受けられるよう体制を作る。

Q 損害賠償には議決が必要

A 判断に錯誤があった

●福田豪 地方自治法では「損害賠償は議決が必要」としている。合併以来こうした事案はなかったのか。

た物損案件はあった。町が直接支払っていないことから、判断に誤りがあった。今後は、議事案件として手続きをする。



福田 豪議員

Q 子育て支援から見える政策

A 議論を深め期待にこたえたい

●福田豪 予算はその



子育て支援課

事務事業の執行限度額と考える。一方で執行のための基本的事項は、原則予算とは別に審議されるべき。また、審議の経過での政治的発言と、その意味の解釈は、それを変更するには十分な説明が必要と考える。

さらに子育て支援は、保育所に入所できない。させられない。させてもらえない児童の保護者も、子育てはしている。こうした方々への支援はどうするのか。

●町長 審議の過程ではできる限り丁寧に説明し、理解を得る努力を惜しむものではない。また、「町の意思」が特定の者の専横によつてはならない。政策論議を深め、町民の期待にこたえたい。補助金は誘致関連ではなく、純粹に子育て支援するもの。また、入所していない家庭にも支援メニューを備えている。



町の長期計画書

Q 今後の財政展望は

A 交付税算定替などで厳しい

●中村 大変厳しい財政状況の中、財源の安定確保をどこに求め、歳出の大幅な削減は何を削減するのか。

●町長 町税などの収納率の向上と滞納額の



中村 幸雄議員

縮減、未利用財産の売却や貸付の実施。また、農外企業の参入の促進、広告料収入など、新たな財源の確保に積極的に取り組むといった地道な活動を通して財源の確保を図る。

補助金の一括交付金化などを効果的に使うため、高額な経常経費が発生するハード事業が整備よりも、継続的か

つ効果的なソフト事業の整備が重要になってくる。

Q 新年度の主要施策は

A 当初予算編成の中で

●中村 合併7年が経過し、町の創意工夫が問われる地域主権時代へと突入したが、町長の考えを聞く。

●町長 主要施策の検討にあたっては、本年度「育」をキーワードに施策を展開しており、これらの事業の検証をしっかりと行い、課題を整理した上で検討する必要があるが、本年度の取り組みの趣旨が途切れないことが重要である。「全町農村公園化構想」の理念に基づき本町の優位性を活かし、特色ある町づくりを進める。具体的な施策は、当初予算編成の中で明らかにする。

Q 町有財産の未利用状況は

A 未利用財産利活用基本方針に沿って処分

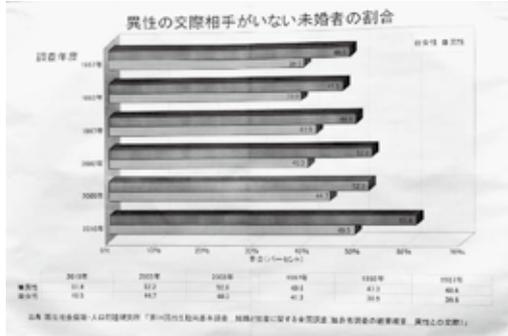


永田英則議員

16万7500円。引き続き有効な処分に努めると同時に、遊休地情報を活用し適切な情報提供を行う。

●永田 過去からの行政運営の中で、遊休財産があると思うが、健全な町運営のため不用品のもの、また本年より創設の企業定住支援制度の活用状況は。

■町長 未利用財産利活用基本方針に沿い処分を進めている。H22年においては、残存建物と土地を一体として一件売却した。町有地の貸付状況は19件、約1万7240㎡、貸付収入5



交際相手のいない割合の推移

Q 人事評価 (第2弾) 課内研修への参加を積極的に取り組む

●永田 住民ニーズに応えていくためには、

職員一人ひとりが持っている能力を最大限発揮できることが求められる。その根幹は人事評価である。現在の状況はどうか。

■町長 継続して課長及び課長補佐級の管理職を対象として実施しており、一定の成果を得ていると認識している。

併せて、管理職による課内研修への参加を積極的に取組み、職員の資質の向上と人材育成に努める。

Q 婚活支援を引き続き学校を開催する

●永田 出会いの場を積極的に行政が提案していく考えはないか。

■町長 世羅町婚活支援事業実行委員会を立ち上げ、せら婚活学校を開催した。引き続き会を重ねていく。

Q これからの観光事業への取り組みは

A 看板整備を計画的に進めていく



松本秀治議員

らを地図に反映して、観光客・ドライバーの満足度の向上を図るため交差点記号化協議会を設置し社会実験をしている。

●松本 当町の観光事業は県内、京阪神、四国地方に認知されつつあるように思える。

以前にも指摘したがわが町の観光施設は町内の端々に点在しており、移動手段とされる車での移動を考えると目印になるランドマークが少ない。

当町は「おもてなし」の観点から考えると改良の余地がある。

四国の高知では、運転や地理に不案内なドライバーや、外国人に對し遠くからでも見えやすく容易に判読できるようアルファベットを1文字表示し、それ



案内を円滑にした市内マップ (高知市)

この事例を当町でも取り組んでほしい。

■町長 来訪者に対する観光案内は、主要幹線道路への案内看板の設置や、「せら高原観光マップ」の配布に加えて、今年度はゴールデンウィーク期間中「臨時観光案内所」を設置して案内を行っている。

また、「ココ・マーク」は、高知市内で社会実験として実施されており、その内容は、高知市内の主な交差点に「アルファベット」を割り付けて「交差点」をわかりやすくし、市内中心部における案内

の円滑化を目的としている。本町の場合は、国道184号・432号に加えフルーツロード及びふれあいロードが「ランドマーク機能」を果たしており、これらの「主要幹線道路」を案内することが最も分かりやすい案内方法と考える。本年度から4か年計画で「せら高原観光案内サインプロジェクト」を推進しており、効果的で分かりやすい看板の整備を計画的に進めたい。



日本の農業を守れるか TPP

●**矢山** 交渉参加をやめて町とし反対運動を強めるべきである。800%近い関税を0にして農業を守れるか。

■**町長** TPP参加に反対であり法人化を進め低コスト



矢山 武議員

Q TPP反対と我が町の農業をどうあるべきか

A TPP参加に反対であり法人化を推進

●**矢山** 少ない年金を引き下げて、支給年齢を68才に引上げる中で復興増税の創設と消費税を10%へ引上げようとしている。

国民年金の引き上げ、くらしを守る対策、

Q 生活できる年金で町民の暮らしを守るか

A 安心安全に暮らせる努力を

働く場づくりが重要では。

■**町長** 全国で118万人の無年金者がいて町の国民年金の額は年額76万6千円。他は、生活保護で対応している。老後対策、地域づくりを行う。



岡田 武士議員

●**岡田** ①TPPは21項目の分野に及んでいる中身は。②本町におけるメリット デメリットは。

■**町長** ①TPPは例外なく関税撤廃を原則とする貿易協定である。

Q TPPが実施されると我が町は町の農業農村そのものが崩壊する

A

ト化と経営の多角化を図る。

後継者確保事業は7名で、所得補償は昨年5億円が支払われた。

●**矢山** 多くの社会保障の後退の中で、身体が不自由な方が安心して

Q 今後の介護給付と障害者の自立は共生の町づくりを目指す

A

きる対応が必要ではないか。自立支援から新法になると、65才以上の非課税世帯のサービスを1割とする動きや、生活援助のサービス時間を45分に引き下げがあったのでは。

■**町長** 地域包括ケアシステムにより、来年から計画をし、障害者福祉で共生のまちを目指す。

●**岡田** 国道184号から国道432号の接

Q 町道鎌倉流線の進展は

A 実施計画で整備箇所として位置づけた

②農産物の輸入が完全自由化されれば、価格面で競争力のない農業は生き残れない。水稲はほぼ壊滅し耕作放棄地が増大すると予測する。

●**町長** 国道184号の甲山橋から国道432号までの整備計画は、県の整備箇所位置づけられている。早期事業着手となるよう働きかける。

●**町長** H20年25・0% H21年31・9% H22年39・4%で県内4位。3カ年の伸びは1位でした。国が定めるH24年度の受診率65%が達成されなければ、後期高齢者支援金が10%加算されるため、国保税の引き上げを伴う可能性がある。



R184とR432の連結はいつ？

●**岡田** ①我が町のメタボ対策は。②自治センターを利用

Q メタボリックの検診率の向上は

A H22年度受診率は県内4位

●**町長** 国道184号の甲山橋から国道432号までの整備計画は、県の整備箇所位置づけられている。早期事業着手となるよう働きかける。

●**町長** H20年25・0% H21年31・9% H22年39・4%で県内4位。3カ年の伸びは1位でした。国が定めるH24年度の受診率65%が達成されなければ、後期高齢者支援金が10%加算されるため、国保税の引き上げを伴う可能性がある。

元気な人
紹介



もっと自慢しよう私たちの町

他の町からみれば、「花があり、美味い果物野菜があり、のどかで人情豊かなところ」と評価されます。そんな良いところをもっとPRしようと「せらを語ろう会」を立ち上げ、アダプト活動で町を綺麗にしようと清掃活動を展開してきた。

このたび世羅高校陸上競技部は全国高校駅伝で7回の優勝を果たした。全国に世羅の名前を広く知らしめた功績と7回の優勝に因んで、「語ろう会」から米7袋、ランニング&ミネラルウォーター7箱づつ、自転車2台を贈呈した。



また、全日本モトクロス大会は国内で10戦が開催され、春と秋の2回が世羅グリーンパーク弘楽園で開催されている。全国から多くのモトクロス関係者やお客さんが集まって来られる。その方々を少しでも温かく迎えたいとキャンペーンガールを買ってでた。県外

せら温泉 店長 大谷 奈弓さん

から来られた方は不安です。おもてなしの心があるとホットするものです。私も和歌山から来た時は不安ばかりでした。世羅で待つて応援してくれる人がいると選手も元気が出ると思う。

この町には良い所がいっぱい、自慢しPRしたい。町が一つになれば発展する、そうした援助が必要で。インターから花をいっぱい飾り「花の町世羅」と感じてもらいたい人の流れを作り、もっと紹介し支援したい。私の特技は「熱意と思いの強さ」です。物事を進めるには、自分を信用して貰うこと。将来の夢を語るその人の人生を見て人は任せられるのだと思う。

今思っていることは、町の歴史的財産「今高野山」を大切にすること。縁あってこの今高野山の一角の「せら温泉」をまかされた。今高野山の歴史と和歌山の縁。この町の原点はこれにお寺にあり、少しでも貢献したいと話された。

福田 義人

テレビ取材がありました！

柳沢慎吾さんが来店され、大谷さんを取材、おむすびグランプリ、大衆演劇などの内容。

テレビ新広島 「人気もん」
1月22日 AM9時30分

表紙紹介



学校に帰って来た選手達(関連写真)

昨年3・11の東北関東大震災は地震と津波また原発事故で壊滅的な被害を及ぼし、一日も早い復興へと歩み始めた厳しい年であったが、年末をかざったうれしいニュースは「あつぱれ日本一の世羅高校駅伝」昨年6秒差で無念の涙。今年には万歳と感動の涙。この涙を町民の皆さんと京都で共有した。この素晴らし

競技部選手20名の祝勝パレードが12月26日に、町役場から高校までの間で行われた。街では提灯や横断幕ポスターなどを飾って歓迎。沿道からは、「良くやった」「町の誇り」などの声飛び交った。表紙の写真は、栄町町内会の皆さんが、祝福の「くす玉」を用意。割れた瞬間を通過する選手たち。

編集後記

昨年3・11の東北関東大震災は地震と津波また原発事故で壊滅的な被害を及ぼし、一日も早い復興へと歩み始めた厳しい年であったが、年末をかざったうれしいニュースは「あつぱれ日本一の世羅高校駅伝」昨年6秒差で無念の涙。今年には万歳と感動の涙。この涙を町民の皆さんと京都で共有した。この素晴らし

い若者のエネルギーを町の活性化に活かす全町民でアスリートを支援したいものだ。

12月議会広報の発行は年末年始の休みを挟み日程が厳しく、正味5日間しか編集日が取れず苦心しました。「議会だより」が町民と議会の絆となれるよう、正確に分かりやすく早く発行できるように工夫に努めている。

徳光義昭

議会を傍聴してみませんか
次回の定例会は3月です

日程は無線放送でお知らせします。またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

委員長／福田 義人
副委員長／松本 秀治
委員／西田美喜男・徳光 義昭
 福田 豪・仙光 保喜

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。



この広報は、環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。